

豊川南小校区タウンミーティングでの意見に対する回答

令和4年2月5日(土) 午前10時

豊川南小コミセン 大会議室

※内容を「①すぐできるもの」「②時間がかかるもの」「③できないもの」に分類

内容	分類	回答
茨木市では、高齢者対象のスポーツ大会を開催している。高齢者の社会参加が課題となる中で、箕面市でも同様の取組を行っているかどうか。	ー	<p>(健康福祉部 高齢福祉室)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度箕面シニア塾（スポーツコース）では15クラスを開催し、そのうち9クラスではスポーツ大会を実施しています。 <p>(子ども未来創造局 保健スポーツ室)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民体育大会の春季13種目中の3種目（テニス・卓球・バレーボール）、秋季14種目中の3種目（テニス・バレーボール・バスケットボール）ではシニア部門を開催しています。また、箕面市バドミントン協会主催でグラウンドシニアバドミントン親善大会を開催するなど、箕面市体育連盟の加盟協会が高齢者が参加できる大会を開催しています。
コロナ禍の状況において、市内に保健所がないことが課題となっているが、その代替措置で市民対象の相談窓口として、コールセンターの設置ができないか。	ー	<p>(健康福祉部 地域保健室)</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健所の所在地により、保健所の業務や市と保健所の役割分担に影響はないため、市内に保健所がないことの課題はありません。 また、＃と4桁でつながるコールセンターは設置していませんが、代替措置ではなく大阪府・箕面市のそれぞれの役割として、箕面市では、箕面市新型コロナウイルス対策本部 072-724-5000 午前9時から午後5時まで（平日のみ）、大阪府では、府民向け相談窓口 06-6944-8197 午前9時から午後6時まで（土曜・日曜・祝日も対応）で相談を受け付けています。
昨年7月2日に小野原豊中線の路面の凹凸について相談したところ、年度内に対応する予定との回答だった。現在、2月であるが、まだ着手されていないように見える。進捗状況を教えて欲しい。	①	<p>(みどりまちづくり部 道路管理室)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年2月中旬より市道小野原豊中線の小野原西6丁目交差点付近から小野原西5丁目交差点までの区間の舗装補修工事を実施いたします。
シニア活動交付金について。組織の立ち上げ時とイベント実施時の補助のみで、日常的な運営において発生する費用に対する補助がない。日常的な経費に対しても補助できないか。	③	<p>(健康福祉部 高齢福祉室)</p> <ul style="list-style-type: none"> シニア活動応援交付金は高齢者の新しい活動を広げ、新たな参加メンバーを増やすことを目的として創設した制度です。このため、団体の立ち上げや、会員を増やすためのイベント等に限定して交付対象としており、日常的なサークル活動等の経費は自己負担いただくべきものと考え、交付対象外としています。

豊川南小校区タウンミーティングでの意見に対する回答

令和4年2月5日(土) 午前10時

豊川南小コミセン 大会議室

※内容を「①すぐできるもの」「②時間がかかるもの」「③できないもの」に分類

内容	分類	回答
温水プールの建設が中止になったが、既に埋め立てた池についてはどのように活用するのか。	ー	(子ども未来創造局 保健スポーツ室) <ul style="list-style-type: none"> 温水プールは、行財政改革による全事業の総点検などにより、事業が休止となりました。現在、事業用地の安全管理対策などのため、埋め立て造成工事を実施するとともに、今後の活用方法について検討を進めています。
以前に実施していた、中学生のニュージーランドへの派遣事業を復活させていただきたい。ICT活用等で交流の機会を確保しているとのことであるが、実際に現地に行って学ぶのとは得られる経験値が全く違う。	①	(子ども未来創造局 学校教育室) (人権文化部 文化国際室) <ul style="list-style-type: none"> ニュージーランドへの派遣は、どうしても経験できる中学生が限定されることから、現在休止となっています。 その後は、ニュージーランドの青少年が来訪した際にホストファミリーを公募するなど、広く市民が交流出来るように取組を進めてきました。 今後も、より多くの市民がニュージーランド・ハット市と交流できるよう、(公財)箕面市国際交流協会と協働しながら取組を進めていきます。
コミュニティセンターの運営について、自治会等から人員を派遣し行っているが、どこも人材難で人員確保が困難となっている。また、建物も老朽化が進んでおり、市として今度どのようにしていこうと考えているか。	②	(市民部 市民サービス政策室) <ul style="list-style-type: none"> コミュニティセンターの運営について、人員確保が困難であることは、他の校区からも意見をいただいています。地域の負担を軽減するためどのようなことができるか、市としても検討していきます。 建物の老朽化については、安全面を重視し、優先順位をもって各センターの施設改修をしています。急な修繕を要する箇所などありましたら、自治会係まで個別にご相談ください。担当者が現地確認の上、対応します。
箕面の子どもは、学力は平均以上だが、体力は劣っている。学校でスポーツにもう少し力を入れて欲しい。	ー	(子ども未来創造局 学校教育室) <ul style="list-style-type: none"> 小学校には、体育の教科書がないため、教科書の代わりとなる冊子を全学年に導入しました。日々の授業を充実させ、運動好きな子どもを育ていけるよう努めてまいります。 ご家庭でも、体力づくりにご協力をお願いいただけるよう、周知しています。

豊川南小校区タウンミーティングでの意見に対する回答

令和4年2月5日(土) 午前10時

豊川南小コミセン 大会議室

※内容を「①すぐできるもの」「②時間がかかるもの」「③できないもの」に分類

内容	分類	回答
サンシャインロードは小野原地区の魅力であるが、渋滞が多く住宅地内を猛スピードで抜け道として通行する車が多い。ハンプの設置により対策ができないか。	②	(みどりまちづくり部 道路管理室) ・ハンプの設置につきましては、車が通過する際の音が大きい等の課題があり、地域の総意として関係自治会からの要望書を提出していただく必要があります。要望書を頂きましたら、道路の状況や警察の意見も踏まえたうえで設置の可否を検討いたします。ハンプ設置が実現できない場合は、代替の速度抑制策として路面標示等について検討いたします。
自転車のルールについて、国は法を制定したが、実際の指導はほぼ何もしていない状態。まずは子どもへの対策が優先と思われるので、学校で交通安全教室を開催できないか。	—	(総務部 市民安全政策室) (子ども未来創造局 学校教育室) ・本市では、平成27年に「箕面市自転車安全利用条例」を施行し、危険な運転をする自転車利用者に対して警察が指導・警告を行う等、多発する自転車事故や危険運転の防止に向けた取り組みを行っています。 ・子どもたちへの自転車ルールの啓発としては、警察署と市が合同で、小学4年生を対象にした交通安全教室を行うとともに、平成24年からは中学生を対象にスケアードストレート（プロのスタントマンが交通事故等をリアルに再現）による自転車安全教室を実施し、交通ルールを守る大切さや無謀運転の危険性を学ぶ機会を設けています。